

平成23年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月25日

上場会社名 マルサンアイ株式会社 上場取引所 名
 コード番号 2551 URL <http://www.marusanai.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)青木春雄
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理統括部長 (氏名)渡辺邦康 (TEL) (0564)-27-3700
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月26日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第3四半期の連結業績(平成22年9月21日～平成23年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第3四半期	15,141	0.5	354	41.5	238	62.1	69	76.4
22年9月期第3四半期	15,064	1.3	604	11.9	630	55.1	293	66.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年9月期第3四半期	6	14		
22年9月期第3四半期	25	72		

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
23年9月期第3四半期	15,516		2,574		16.5		229 01	
22年9月期	15,536		2,653		17.0		232 96	

(参考) 自己資本 23年9月期第3四半期 2,563百万円 22年9月期 2,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年9月期					6	00	6	00	6	00
23年9月期										
23年9月期(予想)					6	00	6	00	6	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年9月21日～平成23年9月20日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	20,581	2.3	529	22.9	425	33.6	161	51.7	14	25

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5 「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年9月期3Q	11,480,880株	22年9月期	11,480,880株
23年9月期3Q	289,419株	22年9月期	132,210株
23年9月期3Q	11,289,884株	22年9月期3Q	11,399,277株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する説明

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表等	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
【第3四半期連結累計期間】	8
【第3四半期連結会計期間】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成22年9月21日～平成23年6月20日)におけるわが国経済は、新興国を中心とした海外経済の成長や政府による経済対策の効果により一部の業種において回復が見られたものの、平成23年3月11日に東日本で発生した未曾有の大震災とその後の福島原発事故により、これまで景気回復の牽引役であった輸出に加え、個人消費も急速に落ち込むなど、景気の先行きは今までに全く不透明な状況で推移いたしました。

食品業界全般におきましては、少子高齢化や景気の先行き不安による節約志向が続いており、市場環境は厳しい状況にあります。また、福島原発事故による放射性物質の漏洩により食品の安全に対する意識が高まっております。なお、多くの企業において被災地に対する物資の供給等の支援活動が行われました。

みそ業界におきましては、デフレによる低価格志向を背景に販売単価の下落傾向が続くなど、厳しい市場環境が続いております。なお、震災の影響により即席みそ汁を中心に需要が高まる動きも見られません。

豆乳業界におきましては、健康志向の高まりを背景に市場は堅調に推移いたしました。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は、151億41百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は、3億54百万円(前年同期比41.5%減)、経常利益は、2億38百万円(前年同期比62.1%減)、四半期純利益は、69百万円(前年同期比76.4%減)となりました。

みそ事業

生みそと調理みそが伸び悩んだため、売上高は、46億17百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

a. 生みそ

みそ市場全体が伸び悩む中、低価格志向による販売単価の下落もあり、売上高は、35億18百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

b. 調理みそ

季節商材の販売不振が影響し、売上高は、7億27百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

c. 即席みそ

PB商品の出荷が好調であったため、売上高は、3億71百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

豆乳飲料事業

受託製造品の出荷が減少したものの、豆乳・ミネラルウォーターが好調に推移し、売上高は、96億69百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

a. 豆乳

健康志向の高まりを背景に堅調に推移いたしました。また、海外向け豆乳の出荷が好調であったため、売上高は、71億58百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

b. 飲料

地震の影響によりミネラルウォーターの需要が急増し出荷が伸長したため、売上高は、25億11百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

その他食品事業

新商品の「塩鍋スープ」の出荷が好調であったため、売上高は、8億54百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

a. 資産

流動資産は、73億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億79百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、現金及び預金の増加3億53百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少3億28百万円、商品及び製品の減少1億28百万円等によるものであります。

固定資産は、81億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億58百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、機械装置及び運搬具の増加99百万円、建物及び構築物の増加30百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、155億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。

b. 負債

流動負債は、82億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億51百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、未払金の減少2億65百万円、賞与引当金の減少1億82百万円等があったものの、未払費用や設備支払手形等のその他の増加6億58百万円等によるものであります。

固定負債は、47億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億94百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、資産除去債務の増加1億90百万円等があったものの、長期借入金の減少1億90百万円、役員退職慰労金の減少1億52百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、129億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円増加いたしました。

c. 純資産

純資産合計は、25億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、自己株式の増加60百万円等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ4億1百万円増加し、16億68百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、12億13百万円(前年同期は9億58百万円の資金増加)となりました。これは、未払金の減少額2億1百万円、賞与引当金の減少額1億82百万円等の資金減少に対し、税金等調整前四半期純利益1億51百万円、減価償却費5億67百万円、売上債権の減少額3億22百万円、たな卸資産の減少額2億13百万円等の資金増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億36百万円(前年同期は5億83百万円の資金減少)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出4億98百万円等の資金減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億57百万円(前年同期は79百万円の資金減少)となりました。これは、長期借入れによる収入20億21百万円等の資金増加に対し、長期借入金の返済による支出21億98百万円等の資金減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期の連結業績予想につきましては、平成23年4月18日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載された内容から変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

a. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

b. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

c. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

d. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が第2四半期連結会計期間末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等を利用して貸倒見積高を算定しております。

特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて試算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会社基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は1,341千円、営業利益及び経常利益は、それぞれ7,569千円、税金等調整前四半期純利益は、82,978千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は188,138千円であります。

表示方法の変更

四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,748,266	1,394,606
受取手形及び売掛金	3,048,271	3,376,567
商品及び製品	512,911	641,281
仕掛品	521,975	560,093
原材料及び貯蔵品	578,413	625,689
その他	980,755	969,811
貸倒引当金	8,433	6,736
流動資産合計	7,382,161	7,561,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,827,584	2,796,628
機械装置及び運搬具(純額)	1,855,346	1,756,310
土地	2,642,135	2,642,135
その他(純額)	134,192	86,903
有形固定資産合計	7,459,259	7,281,978
無形固定資産	88,234	60,848
投資その他の資産		
投資有価証券	433,487	474,825
その他	169,485	167,759
貸倒引当金	16,590	9,771
投資その他の資産合計	586,382	632,813
固定資産合計	8,133,876	7,975,640
資産合計	15,516,038	15,536,951
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,404,721	2,399,400
1年内返済予定の長期借入金	2,453,102	2,439,781
未払法人税等	49,717	27,077
賞与引当金	176,784	359,134
未払金	2,107,013	2,372,973
その他	1,012,412	353,512
流動負債合計	8,203,750	7,951,879
固定負債		
長期借入金	2,851,273	3,041,736
退職給付引当金	1,471,189	1,526,124
役員退職慰労引当金	-	152,770
資産除去債務	190,353	-
その他	225,014	211,285
固定負債合計	4,737,830	4,931,915
負債合計	12,941,581	12,883,795

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	657,881	657,881
利益剰余金	1,293,942	1,292,703
自己株式	127,354	66,831
株主資本合計	2,689,912	2,749,197
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,416	28,348
為替換算調整勘定	100,489	77,094
評価・換算差額等合計	126,905	105,443
少数株主持分	11,449	9,402
純資産合計	2,574,456	2,653,156
負債純資産合計	15,516,038	15,536,951

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年9月21日 至平成22年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年6月20日)
売上高	15,064,373	15,141,067
売上原価	10,686,024	10,957,929
売上総利益	4,378,348	4,183,137
販売費及び一般管理費	3,773,446	3,828,995
営業利益	604,902	354,142
営業外収益		
受取利息	1,113	911
技術指導料	29,276	945
不動産賃貸収入	17,775	17,595
持分法による投資利益	154	-
デリバティブ評価益	10,729	-
保険解約返戻金	28,689	9,732
その他	22,655	17,629
営業外収益合計	110,394	46,814
営業外費用		
支払利息	55,542	48,069
持分法による投資損失	-	27,977
デリバティブ評価損	-	47,164
為替差損	14,344	17,081
その他	14,797	21,693
営業外費用合計	84,684	161,987
経常利益	630,611	238,969
特別損失		
固定資産売却損	1,743	616
固定資産除却損	12,700	10,175
資産除去債務基準の適用に伴う影響額	-	75,408
投資有価証券評価損	23,029	798
製品回収費用	61,809	-
特別損失合計	99,282	87,000
税金等調整前四半期純利益	531,329	151,969
法人税等	237,098	80,591
少数株主損益調整前四半期純利益	-	71,377
少数株主利益	1,054	2,047
四半期純利益	293,176	69,330

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)
売上高	4,879,246	5,058,268
売上原価	3,486,081	3,678,335
売上総利益	1,393,165	1,379,933
販売費及び一般管理費	1,303,274	1,254,666
営業利益	89,890	125,266
営業外収益		
受取利息	216	236
技術指導料	7,719	-
不動産賃貸収入	5,921	5,753
持分法による投資利益	-	4,435
デリバティブ評価益	9,524	-
為替差益	2,693	-
その他	11,827	4,333
営業外収益合計	37,902	14,758
営業外費用		
支払利息	17,808	15,736
持分法による投資損失	3,320	-
デリバティブ評価損	-	7,657
為替差損	-	3,341
その他	4,094	4,217
営業外費用合計	25,224	30,952
経常利益	102,569	109,072
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	54
特別利益合計	-	54
特別損失		
固定資産売却損	1,743	616
固定資産除却損	3,396	337
投資有価証券評価損	1,121	55
製品回収費用	2,037	-
特別損失合計	8,299	899
税金等調整前四半期純利益	94,269	108,227
法人税等	50,083	46,950
少数株主損益調整前四半期純利益	-	61,277
少数株主利益	843	372
四半期純利益	43,342	60,904

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年9月21日 至平成22年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	531,329	151,969
減価償却費	511,202	567,411
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,857	8,515
賞与引当金の増減額(は減少)	173,553	182,350
退職給付引当金の増減額(は減少)	12,348	54,934
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	31,877	8,765
受取利息及び受取配当金	3,492	3,602
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	75,408
持分法による投資損益(は益)	154	27,977
支払利息	55,542	48,069
為替差損益(は益)	115	16,786
投資有価証券評価損益(は益)	23,029	798
デリバティブ評価損益(は益)	10,729	11,895
有形固定資産除却損	6,072	5,521
売上債権の増減額(は増加)	271,045	322,106
たな卸資産の増減額(は増加)	66,637	213,762
仕入債務の増減額(は減少)	212,067	5,320
未払金の増減額(は減少)	67,720	201,712
その他	483,798	315,739
小計	1,445,685	1,313,658
利息及び配当金の受取額	3,612	3,639
利息の支払額	55,972	48,448
法人税等の支払額	434,640	58,030
法人税等の還付額	1	2,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	958,686	1,213,261
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	550,281	498,204
投資有価証券の取得による支出	25,133	8,900
その他	7,669	29,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	583,084	536,872
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,100,000	2,021,000
長期借入金の返済による支出	2,160,919	2,198,142
配当金の支払額	68,395	68,092
その他の収入	195,000	192,000
その他の支出	145,246	204,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	79,561	257,968
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,080	16,760
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	258,959	401,660
現金及び現金同等物の期首残高	1,249,109	1,266,606
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,508,069	1,668,266

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年3月21日 至 平成22年6月20日)

	みそ事業 (千円)	豆乳飲料事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,386,634	3,365,865	126,747	4,879,246		4,879,246
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	1,386,634	3,365,865	126,747	4,879,246		4,879,246
営業利益又は営業損失()	74,022	150,316	13,596	89,890		89,890

(注) 1 事業区分は、製品の系列を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

(1) みそ事業.....みそ、即席みそ、調理みそ

(2) 豆乳飲料事業.....豆乳、飲料、水

(3) その他の事業.....その他食品、他社商品

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年9月21日 至 平成22年6月20日)

	みそ事業 (千円)	豆乳飲料事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,716,594	9,549,508	798,270	15,064,373		15,064,373
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	4,716,594	9,549,508	798,270	15,064,373		15,064,373
営業利益又は営業損失()	88,445	624,127	69,220	604,902		604,902

(注) 1 事業区分は、製品の系列を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

(1) みそ事業.....みそ、即席みそ、調理みそ

(2) 豆乳飲料事業.....豆乳、飲料、水

(3) その他の事業.....その他食品、他社商品

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年3月21日 至 平成22年6月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年9月21日 至 平成22年6月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年3月21日 至 平成22年6月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年9月21日 至 平成22年6月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主として国内で大豆製品を中心とした食品の開発、製造及び販売をしております。

従って、当社グループは系列を考慮した製品別セグメントから構成されており、「みそ事業」、「豆乳飲料事業」及び「その他食品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「みそ事業」は、主に生みそ、調理みそ及び即席みそが対象となっております。

「豆乳飲料事業」は、主に豆乳、飲料及び水が対象となっております。

「その他食品事業」は、みそ及び豆乳飲料以外の食品が対象となっております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年9月21日 至 平成23年6月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,617,842	9,669,060	854,163	15,141,067	15,141,067
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,617,842	9,669,060	854,163	15,141,067	15,141,067
セグメント利益	611,351	2,093,264	216,911	2,921,527	2,921,527

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,440,043	3,489,991	128,233	5,058,268	5,058,268
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,440,043	3,489,991	128,233	5,058,268	5,058,268
セグメント利益	211,611	739,502	31,631	982,746	982,746

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年9月21日 至 平成23年6月20日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,921,527
全社費用(注)	2,567,385
四半期連結損益計算書の営業利益	354,142

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	982,746
全社費用(注)	857,479
四半期連結損益計算書の営業利益	125,266

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。